

外皮用殺菌消毒剤

日本薬局方

イソプロパノール

ISOPROPANOL

【貯法】

気密容器に入れて、火気を避けて保存。

【注意】

取扱い上の注意の項参照。

日本標準商品分類番号					
8	7	2	6	1	6

承認番号	(61AM) 第406号
薬価収載	1986年1月
販売開始	1955年6月
再評価結果	1983年4月

【禁忌：次の部位には使用しないこと】
損傷皮膚及び粘膜（刺激作用を有するので）

【組成・性状】

1. 組成

イソプロパノール 99%以上。

2. 性状

本品は無色澄明な液で、特異なおいがある。水、メタノール、エタノール又はエーテルと混和する。燃えやすく、揮発性である。比重 d_{20}^{20} : 0.785~0.788。

【効能又は効果】

手指・皮膚の消毒、医療用具の消毒。

【用法及び用量】

通常イソプロパノールとして、50~70%液を用いる。

【使用上の注意】

1. 副作用

過敏症：発疹等の過敏症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること（頻度不明）。

皮膚：刺激症状があらわれることがあるので、このような場合には使用を中止すること（頻度不明）。

2. 臨床検査結果に及ぼす影響

注射部位に発赤を起こすことがあるので、アレルギーテストの判断を妨害することがある。

3. 適用上の注意

(1) 人体

ア) 外用にのみ使用すること。

イ) 目に入らないよう注意すること。

入った場合には水でよく洗い流すこと。

ウ) 広範囲又は長期間使用する場合には、蒸気の吸入に注意すること。

エ) 同一部位に反復使用した場合には、脱脂等による皮膚荒れを起こすことがあるので注意すること。

(2) その他

本剤は血清、胆汁等のたん白質を凝固させ、内部にまで浸透しないことがあるので、これらが付着している医療器具等に用いる場合には、十分に洗い落としてから使用すること。

【薬効薬理】

本剤は使用濃度において微生物の蛋白質を変性凝固させることにより殺菌作用を示し、栄養型細菌（グラム陽性菌、グラム陰性菌）、酵母菌、ウイルス等に有効であるが、芽胞産生菌（炭疽菌、破傷風菌等）及び一部のウイルスには殺菌効果は期待できない。

【有効成分に関する理化学的知見】

1. 一般名

イソプロパノール

2. 化学名

2-propanol

3. 分子式

C_3H_8O

4. 分子量

60.10

5. 構造式

$(CH_3)_2CHOH$

【取扱い上の注意】

アルコール類、水溶性、危険等級II、火気厳禁。引火性、爆発性があるため、火気等には十分注意すること。

【包装】

500 mL、16 L。

【主要文献】

第13改正日本薬局方解説書、第1部医薬品各条C-204、廣川書店。

【文献請求先】

タツミ薬品工業株式会社 学術情報部
〒537-0013 大阪市東成区大今里南5丁目14番6号

【製造業者の名称及び住所】

製造発売元 タツミ薬品工業株式会社
大阪市東成区大今里南5丁目14番6号